

『荷物』 作：ポチ子

『荷物』 作：ポチ子

足元に転がる荷物が邪魔だ。

私の進みたい道を塞ぐそれを、

どこかに退けてしまいたいけど、

しまう場所もない。

持ち上げようと思って、

試してみても、

重くて持ち上げることさえできない。

できることなら、

この邪魔な荷物を、

『荷物』 作：ポチ子

窓の外にぶん投げて、

何もない部屋にしたい。

照明も、

ベットも、

机も、

全部投げ捨てて、

何もない私になりたい。

— 終わり —